

心に聴講して

いま

U た

230人が参加しました。 センターで開催され、市民約 3月17日、中田農村環境改善 壊などが問題になって ミュニティ 布施市長は「昨今、 や家族関係の崩 地域コ います

協働のまちづくり講演会が



住民と行政が共有することが大切と話す櫻井さん

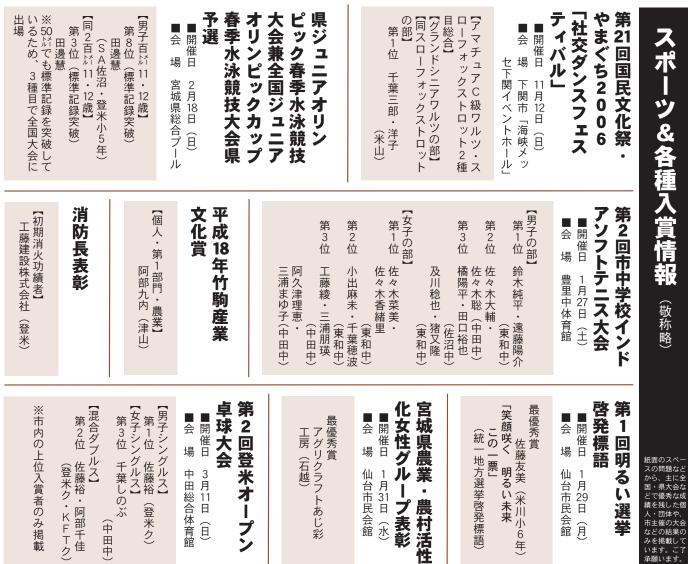


住民と行政が

手を取り合い

協働のまちづくり講演会

まちはみんなでつくるもの」ないし、終わりもありません。日ていくプロセス。結果では民と行政が互いの役割を発見 たい」とあいさつしました。 民皆さんと一緒に考えていき みよいまちになるのかを、市 り」と題して行われました。迎え、「参加・協働の地域づく教授の櫻井常矢さんを講師に域政策学部地域づくり学科助 人と人とのつながりがある住れます。どのようにすれば、の希薄さからきていると思わが、これは人との関わり合い ている「協働」 Ę いる「協働」について、熱話し、参加者は今求められ、協働の意味や在り方など 櫻井助教授は「協働とは住 講演会は、 高崎経済大学地

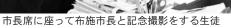




市役所迫庁舎の議場を見学する訪問団

れました。 市へ。 け 庁 ダ 日間、 い4日間にしてください」 施設見学が行わ 参加して、 人と引率者6 ≧へ。市内の豊かな自然やお 布施市長は「ようこそ登米 舎を訪問。 入れ先の中学生や関係者も バ 3 月 訪問団は、 しい食べ物を満喫して楽し 引率者6人が登米市を訪ーノン市から、中高生18 15 日 歓迎セレモニー か ら 18 ホー 16日に市役所迫 れました。 日までの ムステイ受 と È 4 は、 贈られま バーノンに市はわたし その後、バーノン市長礼の言葉を述べました。 の 友好の印として市へ記念品が 涯に残る体験をしたい」とお 登米・日本の文化を学び、 今回市を訪問した生徒たち メッセージが読み上げられ、その後、バーノン市長から ーノンにとても似ている。 中・高一貫校(5年制) • した。 ル 訪問団を代表して - 先生が 「登米 生 る

カラマルカセカンダリ X



嶋村幸二さん(東和)

行われまし

た

中田農村環境改善センターで 教育委員会主催)が3月3日、 な化・スポーツ賞表彰式(市・ れい、スポーツの分野で、

「市を代表して各種大会・コン60人が参加。布施市長は

-ルなどで、

素晴らし

61

成

受賞者や引率者、

来賓約

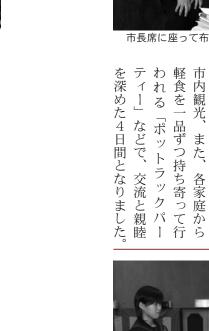
の家で、 の 男 女。 本文化を学びました。 ク ストファミリ jį 。それぞれが13軒のホ」の13歳から17歳まで 朩 ー(受け入れ先) ムステイ -を 体験

軽食を一品ずつ持ち寄って行市内観光、また、各家庭からりなどの体験、伊豆沼などの や東和中での授業、 そのほか、 - オットラックパー - などで、 たき 江戸独楽づくり 1 まし -チゴ狩



ら表彰状と記念品を受け取り 賞。代表者10人が布施市長か でお門で87人、11団体が受 しい」とあいさつしました。 ました。 の。 成績は日ごろの努力のたまも、 〈会男子棒高跳びで、第1位第27回東北中学校陸上競技 今後も後輩などに伝えて

に輝いた渡邊豪君(佐大会男子棒高跳びで、 りました。今後も一生懸命練ほかの学校の生徒と仲間にな 「陸上競技を通じて、 (佐沼中3







Β 々の努力に 表彰状を贈呈

文化・スポーツ賞表彰式



受賞者を代表してお礼の言葉を述べる渡邊君

広報

ムステイで日本の文化を

フナダバーノン市から青少年訪問団

